

授業科目名・形態	日常生活支援技術演習IX（住環境）演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	工藤 久・石岡和志	開講期	3年前期	単位数 1

【授業の主題】

「尊厳保持」の観点から、どのような状態であってもその人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出すことや、見守ることをも含めた適切な介護技術を習得する。また、それらの技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得することを目的とする。なお本演習では日常生活支援技術のうち、「自立に向けて、その人らしく生活できる住環境の整備」について学ぶ。

モデル住宅、福祉機器の見学、および住宅改修前後の写真やスライドなども教材として使用し、より居住環境整備について理解が深まるよう授業を展開する。

【到達目標】

- 1) その人らしく生活できる住環境について理解を深める。
- 2) 各種施設（特養施設、グループホーム、ユニットケア等）の居住環境について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 居住環境整備の意義と目的（工藤）
- 第2回 「住まい」の役割と機能（工藤）
- 第3回 生活空間と介護①日本の「住まい」と「住まい方」の歴史（工藤）
- 第4回 生活空間と介護②高齢者の行動特性の理解（工藤）
- 第5回 生活空間と介護③障害者の行動特性の理解（工藤）
- 第6回 ICFの視点に基づく居住環境のアセスメント（工藤）
- 第7回 施設における居住環境の特性①（工藤）
- 第8回 施設における居住環境の特性②（工藤）
- 第9回 施設における安全で心地の良い生活の場づくりのための工夫（石岡）
- 第10回 居宅における安全で心地の良い生活の場づくりのための工夫（石岡）
- 第11回 快的な居住環境の確保（石岡）
- 第12回 住宅改修の実際（バリアフリー）（石岡）
- 第13回 住宅改修の実際（ユニバーサルデザイン）（石岡）
- 第14回 居住環境整備での他職種との連携（石岡）
- 第15回 まとめ（工藤、石岡）

【授業実施方法】

演習形式で行う。

【授業準備】

教科書を事前にチェックして、用語などを調べておいてください。

【主な関連する科目】介護の基本、社会福祉概論Ⅰ、高齢者福祉論Ⅰ、障害者福祉論Ⅰ

【教科書等】

新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅰ第4版 中央法規

【参考文献】

- ・児玉桂子, 高齢者居住環境の評価と計画, 中央法規出版

【成績評価方法】

筆記試験 70%、レポート等 20%、平常点 10%による総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

介護が必要な人のための居住環境を快適にするにはどうすればいいのか考えてみてください。